

拠点形成研究交流報告：

オランダ ワーゲニンゲン大学との植物科学ワークショップ

東北大学(TU)大学院農学研究科とオランダ・ワーゲニンゲン大学(WUR) Experimental Plant Science (EPS)が共同で、植物科学に関するワークショップ“WUR-TU Plant Science Workshop 2018” (organized by Dr. Miyashita in TU and Dr. Seidl in WUR) を12月18日・19日に実施しました。現在進行中の共同研究に関する進捗報告・打ち合わせに加え、新たな共同研究関係構築の可能性探索を行いました。

ワークショップはワーゲニンゲン大学研究交流施設 Impulse を会場に、農学研究科から7名、ワーゲニンゲン大学 EPS から9名の教員を参加者としてクローズドな形式で実施しました(参加者・タイムテーブルは次頁)。ワーゲニンゲン側のオーガナイザーである Michael Seidl 助教による開会挨拶の後、CFAI センター長・農学研究科副研究科長である高橋英樹教授が CFAI および農学研究科の紹介を行いました。続いて全ての参加者が各自 45 分の持ち時間で研究発表および質疑応答を行う形式で、2日間にわたって濃密なディスカッションをもちました。現在進行中の共同研究について研究を発展させるためのアイデアが議論されたほか、両校の教員間で興味や技術を共有できる可能性をもつ新たな組み合わせも見つかりました。また、講演間の休憩や昼食の時間も研究や教育に関する情報交換を行いました。中でも農学研究科とワーゲニンゲン大学 EPS の間で締結されている研究交流協定に関連して、これまでのオランダ国内からの学生受入事例について具体的な情報を共有できたことは特に有意義であったと思われます。ワークショップ閉会に当たってはワーゲニンゲン大学 EPS の Director である Gerco Angenent 教授と高橋英樹教授の間で今後の研究交流の継続・発展に関する意見交換が行われました。またワークショップ前日には、Michael Seidl 助教のはからいで共同利用温室 Unifarm や植物科学関連の研究室が入居している研究棟 Radix・講義実習棟 Forum の見学をさせていただきました。施設や人材を活用するために非常に合理的なシステムが採用されていることが印象的でした。

尚、このワークショップは**研究拠点形成事業「食の安全性の飛躍的向上を目指した農免疫国際研究拠点形成」**ならびに**新学術領域「ネオウイルス学」**のサポートにより実施されました。深く感謝いたします。

(文：東北大学大学院農学研究科 植物病理学分野助教 宮下脩平)

Program

Monday 17 December 2018

13:30 – 16:30 Campus tour for TU participants:
Unifarm, Radix, Forum, etc.

Tuesday 18 December 2018

08:30 – 09:00 Registration & Coffee
09:00 – 09:05 Opening remarks: **Michael Seidl (WUR)**
09:05 – 09:15 Introduction of Tohoku University:
Hideki Takahashi (TU, Vice Dean of Grad Sch Agr Sci)

Session 1: Phytopathology Chair: *Shuhei Miyashita*

09:15 – 10:00 **Shuhei Miyashita (TU)**
10:00 – 10:45 **Richard Kormelink (WUR)**
10:45 – 11:10 Coffee break
11:10 – 11:55 **Hideki Takahashi (TU)**
11:55 – 12:40 **Bart Thomma (WUR)**
12:40 – 14:00 Lunch

Session 2: Tomato and stress Chair: *Marian Bemer*

14:00 – 14:45 **Kazuhisa Kato (TU)**
14:45 – 15:30 **Arnaud Bovy (WUR)**
15:30 – 15:50 Coffee break

Session 3: Genetics and Brassicae Chair: *Hiroyasu Kitashiba*

15:50 – 16:35 **Hiroyasu Kitashiba (TU)**
16:35 – 17:20 **Marian Bemer (WUR)**
17:20 – 18:00 Free discussion
19:00 – 21:00 Dinner at WICC

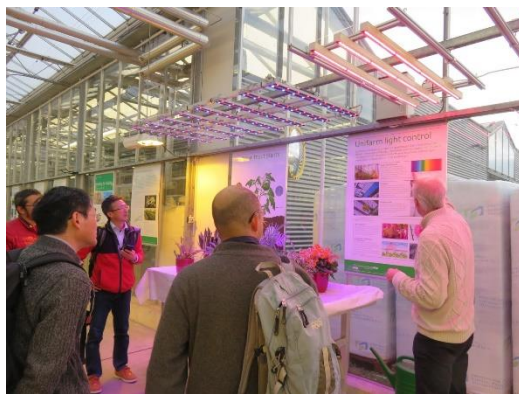
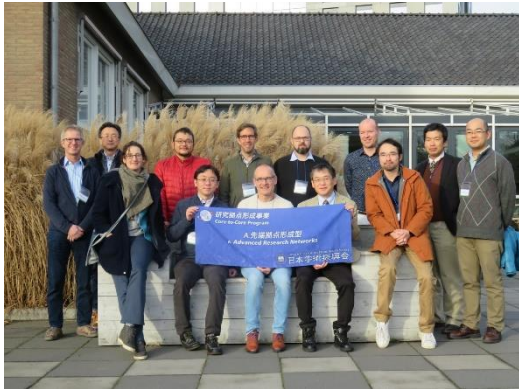
Wednesday 19 December 2018

08:30 – 09:00 Registration & Coffee
Session 3: Genetics and Brassicae (continued) Chair: *Michael F Seidl*
09:00 – 09:45 **Eric Schranz (WUR)**
09:45 – 10:30 **Gerco Angenent (WUR)**
10:30 – 11:00 Coffee break
11:00 – 11:45 **Masaya Yamamoto (TU)**
11:45 – 12:30 **Michael F Seidl (WUR)**
12:30 – 14:00 Lunch

Session 4: New techniques Chair: *Tomohiko Kazama*

14:00 – 14:45 **Frans Krens (WUR)**
14:45 – 15:30 **Tomohiko Kazama (TU)**
15:30 – 15:50 Coffee break
15:50 – 16:35 **Koki Homma (TU)**
16:35 – 17:20 **Mark G.M. Aarts (WUR)**
17:20 – 17:50 Free discussion

17:50 – 18:00 Closing remarks: **Gerco Angenent (WUR, Head of EPS)**



1	2
3	4
5	6

1. 参加者の集合写真
2. セッションの様子
3. 休憩時間のディスカッション・情報交換
4. 昼食におけるディスカッション・情報交換
5. 共同利用温室 Unifarm の見学
6. Michael Seidl 助教によるキャンパスツアー